

Profile



指揮・編曲：御法川雄矢

Conductor・Arranger: Yuya Minorikawa

岩見沢市出身。10歳よりヴァイオリンを始め、その後、ヴィオラに転向し1996年桐朋女子高等学校音楽科入学と共に指揮をはじめ。99年桐朋学園大学音楽学部入学。在学中よりロイヤルチェンバーオーケストラのメンバーとして参加する他、2000年よりバンドネオン・小松亮太のライブ、レコーディングに参加。01年12月に大学4年で貞松・浜田バレエ団「くるみ割り人形(全幕)」で関西フィルハーモニー管弦楽団を指揮、デビュー。03年桐朋学園大学音楽部卒業。05年1月札幌商工会議所主催「くるみ割り人形(全幕)」、9月貞松・浜田バレエ団「眠れる森の美女(全幕)」で大阪交響楽団、12月井上バレエ団「くるみ割り人形(全幕)」でロイヤルメトロポリタン管弦楽団、吹田市民バレエ「くるみ割り人形(全幕)」で関西フィルハーモニー管弦楽団を指揮。07年エレメンツ・クアルテットを結成、北海道でデビュー公演ツアー。09年2月NHK交響楽団入団。10年静岡交響楽団第44回定期演奏会、12年2月第33回全道バレエフェスティバルインサブポロ「ラ・シルフィード(全幕)」で札幌交響楽団、5月俊友会管弦楽団第49回定期演奏会、14年10月「富田勲の世界」で源氏物語幻想交響絵巻を初演、ロイヤルメトロポリタン管弦楽団を指揮、富田氏から絶大な信頼を受ける。19年3・4月の「半崎美子withロイヤルチェンバーオーケストラ」で編曲・指揮を担当、東京・岡山・大阪公演で大成功を収める。指揮を故・堤俊作、ヴァイオリンを市川映子、ヴィオラを故江戸純子、室内楽を故・青木十良、各氏に師事。現在、NHK交響楽団ヴィオラ奏者。21世紀の吹奏楽「響宴」会員、ロイヤルチェンバーオーケストラ、GEN室内管弦楽団、ヴィルトゥオーゾ横浜、小松亮太オルケスタ・ティピカ、エレメンツ・クアルテット、昴21弦楽四重奏のメンバー。



ヴォーカル：半崎美子

Vo: Yoshiko Hanzaki

北海道出身のシンガーソングライター。札幌の大学在学中に音楽に目覚め、大学を中退し単身上京、パン屋に住み込みで働きながら曲を書き続けた。歌うと会場のどこかで必ず涙を流す人がいる。そんな個性豊かな歌声とメッセージ性に富んだ歌詞、そして生き方そのものに共感する人が全国から集まり、17年間どこにも所属することなく、個人で東京・赤坂BLITZの単独公演を3年連続開催、ソールドアウト。人の心に寄り添いながら作る歌は、全国のショッピングモールを回り歌い続け、出会った人々の人生に触れ、涙に触れて、生まれた。「ショッピングモールの歌姫」として数々のメディアでも取り上げられ話題となり、17年の下積みを経て、2017年4月にメジャーデビュー。NHKみんなのうた「お弁当はこのうた～あなたへのお手紙」や「サクラ～卒業できなかった君へ～」などを収録したミニアルバム「うた弁」はロングヒットとなる。同年「第50回日本有線大賞新人賞」を受賞。2018年3月、MBS/TBS「情熱大陸」では半崎美子の生き方や学校訪問の様子が放送され反響を呼び、11月には東京国際フォーラムホールAでの集大成コンサートを大成功させた。2019年5月、「明日への序奏」が教育芸術社より発売の中学生の音楽教材に掲載される。天童よしみさんへの楽曲提供で話題となった曲「大阪恋時雨」は、2019年、第70回NHK紅白歌合戦でも歌われた。4月21日、イオン北海道のTVCMソング「特別な日常」を収録したニューシングル「ロゼット～たんぼの詩～」を発売。自分の歌が自分自身よりも長生きすることを願い、歌が教科書に載ることが一つの夢である。

管弦楽：どさんこクラシックオーケストラ

Orch: Dosanko Classic Orchestra

2018年9月に北海道を襲った「北海道胆振東部地震」は、遠く都内等で活動する北海道出身【どさんこ】のクラシック演奏家も心を痛め、直ぐに仲間に声をかけ行動を起こし「故郷の復興支援に少しでも力になれば」と、翌月に北海道胆振東部地震復興支援チャリティコンサートを東京オペラシティで開催。「北海道新聞社会福祉振興基金」を通じて義援金を届けた。故郷のために立ち上がり、助け合い分かち合う、これがどさんこの精神!。そして、演奏家たちは「やはり道産子の力、道産子だから生まれる音楽って凄い!」と感じ、その故郷・北海道への心をもって、「どさんこクラシック」を結成。昨年11月に鷹栖町、岩見沢市で「どさんこクラシックス」を開催しました。北海道の地で育ち、全国各地で活躍している、どさんこクラシックアーティストが所属オケの垣根を越える。これも「どさんこ」アーティストたちの、故郷に対する熱い思いからです。



特別出演：HBCジュニアオーケストラ

北海道放送(HBC)が1964年に創設。現在、小学4年から高校3年までの約90名が在籍、常任指揮者・阿部博光氏(北海道教育大学岩見沢校元教授)の指導のもと練習に励んでいる。毎夏に定期演奏会「サマーコンサート」を開催のほか、北海道内各地で演奏を披露。海外公演もこれまでに6回実施し、最近では2018年にウィーンを訪問し、楽友協会「黄金のホール」にジュニオケの音を響かせた。また、HBCジュニアオーケストラからは国内外で活躍している多くの演奏家が輩出。「どさんこクラシックオーケストラ」のメンバーである森田昌弘氏、西本幸弘氏、阿部幸奈氏、向井航氏、富岡廉太郎氏、西澤誠治氏はHBCジュニアオーケストラの出身。これまでに「北海道文化賞」や「札幌市民芸術祭奨励賞」、「地域文化功労者表彰」(文化庁)などを受賞している。



特別出演：HBC少年少女合唱団

HBC少年少女合唱団は、北海道の文化に貢献できる優秀な合唱団の育成を目的に、1957年「HBC児童合唱団」として発足し、65年に「HBC少年少女合唱団」として創設され、今年で創立56年を迎えた。合唱団は小学生のジュニアクラスと中学生・高校生のシニアクラスで編成されており、定期演奏会や各種コンサート、オペラ、テレビ、ラジオ出演などで幅広く活動。2018、19年に半崎美子さんと共演、CD「明日を拓こう」合唱バージョンに参加している。《受賞歴》2000年札幌市民芸術祭大賞 08年札幌市民芸術祭奨励賞 12年札幌市民芸術祭大賞 13年「フィレンツェ国際合唱フェスティバル」グランプリ(金のダビデ賞) 15年度札幌芸術賞 13年から7年連続、全日本合唱コンクール北海道代表として全国大会に出場 18年全日本合唱コンクール全国大会金賞 19年ヴォーカルアンサンブルコンテスト金賞

